

平成31年度事業計画

1. 公益目的事業

公1. 【事業内容】

神奈川県内の中小企業青年従業員の海外視察派遣及び研修会、講演会等を神奈川県と共同開催し、地元産業の振興・活性化を図る事業。

A. 神奈川県中小企業技術者等海外派遣(一般公募)

本年度は第49回の派遣をつぎのとおり実施する。

(a) 対象者と選抜方法

県内の同一企業に2年以上勤務し、事業主推薦を受けた中小企業の青年技術者を一般公募により募集し、財団と県産業労働局、派遣団団長で組織された選考委員会で論文及び面接審査により選抜する。

(b) 派遣方法

- ・人員 : 15名程度(除く団長・副団長各1名及びサポートスタッフ)
- ・派遣先 : ヨーロッパの主要工業国(2カ国程度)
- ・日程 : 8日間(派遣時期:平成31年度下期)
- ・費用 : 財団と事業主が負担する。

B. 神奈川県商業従業者海外派遣(一般公募、加入団体の推薦応募)

本年度は第25回の派遣をつぎのとおり実施する。

(a) 対象者と選抜方法

県内の中小企業(商業)に1年以上従事する青年従業者から一般公募ならびに県内各推薦団体(商店街連合会、商工会連合会等)の推薦を受けた応募者を、県産業労働局と財団を中心に組織された選考委員会で論文及び面接審査により選抜する。

(b) 派遣方法

- ・人員 : 10名程度(除く団長・副団長各1名及びサポートスタッフ)
- ・派遣先 : ヨーロッパの主要商業先進国(2カ国程度)
- ・日程 : 8日間(派遣時期:平成31年度下期)
- ・費用 : 財団と事業主が負担する。

C. 産業人材育成フォーラム(一般公募)

平成20年度より開始した事業で、神奈川県内の産業従事者に対する講演会、研修会等を神奈川県と共催開催するものである。フォーラムのテーマは、その都度タイムリーでかつ多くの産業従事者が関心を持つ内容の時事を選定する。本年度のフォーラム内容は県産業労働局労働部にて基本企画を現在検討中である。

公2. 【事業内容】

神奈川県内の産業・文化・芸術・生活一般等幅広い分野における調査・研究とそれに関する情報発信としての季刊誌発行を通して、県民の文化・芸術の振興、知識の増進と普及、豊かな人間性を涵養することを目的とする事業。

A. 季刊誌「マイウェイ」の発行

季刊誌「マイウェイ」を3月・6月・9月・12月の4回発行とする。

発行部数は、従来通り各17,500部の発行とする。

シリーズ号は、平成30年3月号から、「かながわの浮世絵」を新シリーズとしてスタートさせた。県内各所で所蔵される浮世絵にスポットをあて、県内各地の歴史と風土を考察する。取材先は、平成30年3月号は「藤澤浮世絵館」であり、平成31年3月号は「県立歴史博物館」、翌年3月号は「川崎浮世絵ギャラリー」を予定している。

通常号は、これまで同様、県内の産業・文化・芸術・生活面から、県民に関心の高い話題性のあるテーマを選び、紹介する予定である。

なお、前年度に続き神奈川新聞社に制作を委託する。(契約期間5年の3年目)

B. 「マイウェイ」バックナンバーの一部WEB化

お客様のご要望にお応えしていくために、在庫切れの号を中心に、本文のWEB化の、検討を進めるもの。

公3. 【事業内容】

神奈川県の産業・文化・芸術・芸能・生活等に関する講演会、演奏会、公演等を自主または共同開催し、県民に対する文化・芸術の振興、知識の増進と普及、豊かな人間性を涵養することを目的とする事業。

A. ファミリークラシックコンサート

(公財) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共催事業として例年通り開催する。

本コンサートは、平成13年より開始され、主な対象を12歳以上の子どもと大人の家族層とし親しみやすいクラシックを基本内容として、音楽芸術の振興と子どもの健全な育成に寄与し、親子や家族が豊かな人間性を涵養することを目的とする。

B. 神奈川民俗芸能公演

神奈川県民俗芸能保存協会並びに神奈川県との共催事業として、既に45団体が参加し、本年度で10回目となる「2019 きらめくふるさと かながわ民俗芸能祭」を開催する。

神奈川県内の無形民俗文化財や県内の各地で継承されている多くの民俗芸能を幅広く県民に紹介し、郷土芸能に対する理解を広め、地域文化・芸能の振興と継承に寄与することを目的としている。

12月に開催する本年度の演目は、現在、神奈川県民俗芸能保存協会において地域性、実演性等を考慮しつつ検討中であるが、昨年同様5団体の公演を計画している。

C. はまぎん財団「ふれあいコンサート」

音楽を身近に感じ、心豊かな人間性と生活力を涵養していくために、クラシック音楽を主とするコンサートを開催し、併せて演奏機会を求めるプロの演奏家へ演奏機会を提供することにより、音楽芸術の振興を目的としている。

コンサート回数は昨年度は7回(ヴィアマールで2回、ラウンジコンサートで5

回)であったが、本年度は6回（ヴィアマールで3回、ラウンジコンサートで3回）とし、ほぼ同一の年度予算でより多くのお客様にご来館いただき音楽を楽しんでいただくこととする。

公4.【事業内容】

神奈川県内の文化・芸術・芸能の普及・振興と向上に寄与することを目的とする事業及び心身障害児者の活動を支援、助成する事業。

A. 第55回神奈川県美術展への助成

主催：神奈川県美術展委員会、神奈川県民ホール、神奈川県、共催：（公財）厚木市文化振興財団

神奈川県における美術芸術の普及振興を図り、県民文化の向上と作家の育成に寄与することを目的に開催される公募美術展への「はまぎん財団賞及び副賞金」の提供助成を例年通り実施する。

B. 第75回ハマ展への助成

主催：横浜美術協会、共催：横浜市

横浜市民の美術芸術の普及振興と、文化の向上に寄与することを目的に開催される公募美術展への「はまぎん財団賞及び副賞金」の提供助成を例年通り実施する。

C. 横浜市心身障害児者を守る会連盟への助成

心身障害児者のスポーツ活動を通して、心身の健康を促し、余暇の充実を図り市民の一員として社会参加を促進することを目的として実施される「横浜市ふれあいスポーツ大会」での競技参加賞品の提供助成を例年通り実施する。

また、成人を迎える心身障害児者たちの社会人への成長を祝すとともに、社会人としての自覚を促すことを目的に開催される「成人を祝う会」への記念品及び運営経費の一部の提供助成を例年通り実施する。

2. 収益事業等

収1.【事業内容】

横浜銀行が所有する多目的ホール『はまぎんホールヴィアマール』を広く地域の方に安価有料開放する際の管理運営事務代行業務を行ない、本受託事業により得た収益を公益事業実施財源の一部となるよう公益目的事業会計へみなし寄附し公益事業へ寄与することを目的とする事業。

【平成31年度計画】

営業日数	280日
使用日数	182日
稼働率	65.0%

以上